

平成 28年 6月 10日

## サイエンス・ダイアログ 実施報告書

1. 学校名・担当者氏名: 香川県立高松桜井高等学校 八田由美
2. 講師氏名: Dr. Chit Hong Yam
3. 同行者氏名: 高橋 翔太 様
4. 実施日時: 平成 28年 6月 10日 (金) 16:00 ~ 17:30
5. 参加生徒: 1年生 6人、 2年生 2人、 3年生 11人 (合計 19人)  
備考: 聴講希望者
6. 講演題目: (英文) Why do I love space and rocket science? How to think like a scientist?  
(和文) なぜ宇宙およびロケットの科学を好きになったか? 科学者の考え方とは?
7. 講演概要: 自己紹介と出身国について、研究者になったきっかけなど(10分)  
宇宙探査とロケット工学についての概要説明(20分)  
宇宙ミッションと天体力学、軌道力学についての説明(20分)  
スペースゲーム(シミュレーション)実習(10分)  
科学者の考え方について(15分)  
Q&A(15分)
8. 使用言語: 英語
9. 講演形式:
  - (1) 講演時間 75分 質疑応答時間 15分
  - (2) 講演方法 (例: プロジェクター使用による講演、実験・実習の有無など)  
プロジェクター使用による講演、 パソコンを利用したシミュレーション実験
  - (3) 通訳 (例: 同行者によるサポート、外国人研究者本人による日本語説明)  
講師が一つの話題について話した後、同行者がそれを日本語で要約説明してくださいました。また、生徒からの日本語の質問も、同行者が講師に説明してくださいました。
  - (4) 事前学習時使用教材(事前学習を行った場合のみ)
    - ① 講師の方が準備して下さった専門用語の単語集
    - ② 英語のリスニングに慣れるために、web 上で無料公開されている「Kahn Academy」

の cosmology の映像を視聴

10. 学校からの支給経費(該当がある場合): 交通費 宿泊費 謝金

11. その他特筆すべき事項:

事前に、講師の方も関わって開発が行われた「Space Game」のプログラムを使っての実習を行うとうかがっていたので、講義はパソコン教室を利用して行いました。

講義は、講師の方と同行者の方が一緒に前に立たれ、お二人でしていただいたが、聴講した生徒からは、専門用語や難解な表現を的確に訳していただけたことでとてもわかりやすく内容が面白かったと好評であった。同行者が大学4年生ということで、生徒との年齢の近さもあり、自在に英語を操って講師の方と話をされていたことにも大変感銘を受けており、何を学ぶにしても、英語を身につけることでコミュニケーションの幅が広がるのだということを実感し、科学に対する興味、関心の向上とともに、英語を学習することへのモチベーションにつながったようで、大変有意義な講演でした。